

紀州まるごとツアー

7月28日(月) ~ 7月30日(水)

IN 和歌山県立潮岬少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設向け出発 白良浜遊び	石拾い 施設到着	振り返り
2日目	イルカと泳ぎ体験 くじらの博物館見学		夕飯づくり 振り返り
3日目	朝食づくり・おにぎりづくり 施設避難	施設避難	施設を出発 解散

一日目： 今年も紀州を横断する満喫ツアーが開催しました。連日の快晴に暑さの心配はありますが、それ以上に楽しさが勝っており、出発前から興奮を感じております。尼崎にて全員集合し、和歌山県に出発しました。道中、自己紹介やゲームなどで盛り上がり、楽しみながら向かいました。途中のサービスエリアにて昼食を済ませ、初めの楽しみである、【白良浜】に到着しました。キレイな青色な海に白い砂浜、本当に美しい海水浴場です。少しの時間ですが、存分に楽しみました。その後、【志原海岸】へ思い出工作で用いる石を拾いに行きました。この海岸は潮の流れが交差するところで、その影響により石が全て丸く削られています。丸く平たい描きやすそうな石を見つけました。中にはハート型の石もありました。海岸を出発し、施設に到着しました。プールで体に残っている潮を落とし、着替え、職員さんから施設の使い方を聞きました。そして、夕飯を買いに近くのスーパーへ向かいました。各々食べたいものを選びました。夕飯を済ませ、入浴を終えると、最後のプログラム、【ストーンペインティング】を行いました。一日の中で、一番思い出に残っている場面を石に描きました。そして、その理由を発表してもらいました。同じ場面でも理由は様々です。沢山の思い出を共有することが出来ました。明日の目一杯楽しみましょう！！



二日目： 朝食は野外炊飯の為、着替えて、準備をして、炊飯場へ向かいました。メニューはキャンプ定番飯の【バックサンド】です。作り方を知っているメンバーも多く、皆で話し合いながら作りました。二～三個おかわりされている方もおられました。この日は遠足で、太地町へ向かいます。そこで今回のキャンプのメインプログラムである、【イルカとスイム】を楽しみます。イルカと一緒に泳ぐ事が楽しみな方が多く、道中もワクワクされていました。現地に到着し、水着とウェットスーツに着替えると、イルカ達が待っている場所へ移動しました。イルカ達は元気に泳ぎ、優しく迎えてくれました。合図の体験をしたり、実際に触れ合ったりしました。そして一番の楽しみである、一緒に泳ぐ体験をしました。イルカの背ビレに捕まり、引っ張ってもらいます。振り落とさないよう、優しく運んでくれました。残り時間は、フリータイムとしてイルカと自由に泳ぐ体験をしました。待っているとイルカが来てくれて、運んでくれました。終始楽しく、幸せな時間を提供してくれました。終わった際の



表情は大満足な様子でした。イルカ体験と入れ替わりで【くじらの博物館】へ見学に行きました。ここでは実際にクジラ達が泳いでおり、身近に見ることが出来ます。また、ショーも観ることが出来、大きな体が宙を舞う様子は迫力満点でした。展示物を見ることも出来、大きさを実感する事が出来ました。あっという間に楽しい時間は過ぎ、施設へ戻りました。疲れたのでしょう、帰りの車内はとても静かでした。施設に戻ると夕飯の準備に取り掛かりました。今晚はビュッフェ形式で、みんなが作ったメニューをいただきました。かなり沢山作ったのですが、見事完食されました。入浴後は、昨日も行った振り返りをしました。皆が描く場面はほとんどがイルカでありました。理由は様々で、沢山の見方から楽しさを共有することが出来ました。



三日目： 朝一番からシーツをたたみ、荷物整理や片付けなど退所の準備を進めました。ある程度終わったタイミングで、食堂にて朝食を済ませました。朝食後はお昼ごはん用として、沢山おにぎりを握りました。予定では出発し、アドベンチャーワールドに行くはずでしたが、警報が発令し、施設避難することになりました。初めは戸惑う様子が伺えましたが、現状と事情を説明し、安全の保証をお伝えすると安心されたようで、そこからはいつもの楽しい表情が見られました。避難指示が出ているので、施設内で過ごしました。職員さんが快く遊び道具を貸していただき、ボードゲームをしたり、DVDを観たりして、過ごしました。また、仲良くなったグループみんなで談笑をされている姿も見受けられました。帰るか残るかギリギリの瀬戸際、夕方過ぎに警報が解除されたので、帰ることにしました。その時の安堵の喜びはキャンパー一番の声援でした。バスを走らせると、ちょうど地平線に夕陽が沈むタイミングであったので、空のコントラストがとても美しかったです。途中で夕飯を購入し、車内で食べながら尼崎へ戻りました。尼崎、京都へ戻ると親御様が待っておられ、無事に解散することが出来ました。

<キャンプ総括>

今年の紀州は、津波警報と重なってしまい、三日目は夕方過ぎまで施設に避難する事になりました。施設自体は海拔30mありますので、津波の心配はありませんでしたが、施設のある串本町には避難指示が出ましたので、街に住まわれている方は避難する事となりました。海沿いに住んでいない我々にとって何もかもが未知の経験であり、街から人がいなくなる事に正直、異様さを感じました。しかし、串本町の人々からすれば避難する事は当たり前であり、それを異様に感じる事が危機感の低さとなります。私も口では伝えていますが、自身の危機感に猛省しました。今回の経験をTOPの皆様へ還元し、安全性をより高めて参ります。最後となりましたが、不測の事態とはいえ、三日目を楽しみにされていた皆様へ心よりお詫び申し上げます。来年も【紀州まるごとツアー】を実施致します。是非ともご参加よろしくお願ひ致します。 （竹中 哲郎）